

1成分形非硬化・皮膜形成型油性シーリング材

ホウ酸防蟻気密シーリング材

ボレイトシール

ボレイトシールは、天然の乾燥油を主成分とした1成分油性シーリング材です。表面は空気中の酸素と反応して皮膜を形成しますが、内部は硬化しない非硬化型のシーリング材です。ホウ酸配合により、高い防蟻性能が長期間持続します。

JSIA F☆☆☆☆

■特長

- ◇ホウ酸配合により、高い防蟻性能が長期間持続します。
- ◇表面の皮膜形成後、内部は長期にわたって可塑性に富みます。
- ◇ノンプライマーで各種の被着体に付着します。
- ◇鉄板、トタン、ブリキなどに防錆硬化があります。
- ◇天然植物油脂をベースに開発した、地球にやさしいシーリング材です。

■用途

- 基礎コンクリート部のシロアリ侵入経路となる隙間の防蟻処理。
配管部／セパレート金具／水抜き穴／コンクリート打継部／玄関土間コンクリート打継部／他
- 土台と基礎間、パネルなどの気密処理。
- 基礎断熱材の接合部。

■性状・性能

商品名	ボレイトシール
主成分	天然植物油
防蟻成分	八ホウ酸二ナトリウム四水和物
外観	ペースト状
粘度 (23℃)	490Pa・s
不揮発分 (110℃、3時間)	99.4%

JIS A 1439 に基づく性能に準拠

スランプ (mm) 50℃	0	
密度 (g/ml)	1.46	
押出し性 (秒)	5℃	7
	23℃	4
タックフリー (時間)	23℃	4

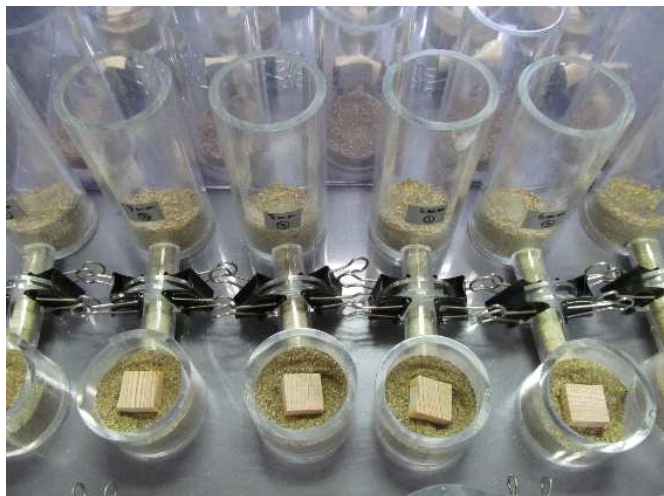
施工温度範囲：0℃～40℃ 使用温度範囲：-20℃～70℃



日本ボレイト

防蟻性能

(公社) 日本木材保存協会規格 JWPAS-TS-(1) (2011) 室内効力試験性能基準



※諸性能

貯蔵安定性 (月)	12	密封、冷暗所保管
-----------	----	----------

■留意事項

- 水に濡れた被着体には付着しません。
- ワーキングジョイントには使用することができません。
- 目地周辺部を汚染することがあるので使用箇所及び被着体に注意してください。

■施工手順

シーリング施工は、次の手順に基づいて実施してください。

1. 事前検討及び施工準備、2. 施工前検査、3. 下地の清掃・乾燥、4. マスキングテープ貼り
5. カートリッジガンへの装填、6. シーリング材充填、7. ヘラ又はバッカー仕上げ
8. マスキングテープ除去、9. 目地周辺の清掃、10. 検査・確認

■使用量

ボレイトシール・330ml 当たりの概算施工メートル数

D \ W	5mm	10mm	15mm	20mm
5mm	10.8	5.4	3.6	
10mm		2.7	1.8	1.4
12mm			1.5	1.1

ロス率：20% W:目地幅、D:目地深さ

※防蟻性能を求める場合は、目地深さ **5mm** を確保してください。

■注意事項

- ・できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて手袋等の保護具を着用してください。
- ・シーリング材の取扱い時には、保護眼鏡をご使用ください。
- ・廃棄処理は、産業廃棄物処理業者に委託してください。
- ・眼に入った場合は、速やかに多量の水で洗い、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- ・誤って飲み込んだ場合は、多量の水又は牛乳を飲ませて吐き出させて、速やかに医師の診察を受けてください。
- ・子供の手の届かない冷暗所に保管してください。
- ・保管は、直射日光を避け、必ず密封して冷暗所に保管してください。
- ・本品は建築用又は工業用に開発された製品ですので、本用途以外には絶対に使用しないでください。

※詳細の説明は SDS（安全データシート）をご参照ください。

■荷姿

●シーリング材

ボレイトシール：330ml カートリッジ×10本／段ボールケース×2箱・1梱包

◇色調：グレー

■ボロン de ガード®シロアリ保証制度

新築、既存に関わらず、布基礎で地盤が防湿コンクリートに覆われている場合は『ボロン de ガード®シロアリ保証制度』を利用することができます。ただし、その場合、布基礎と防湿コンクリートの打継ぎや防湿コンクリートのひび割れ等の隙間をボレイトシールで適正に処理する必要があります。ここに言う適正な処理とは、当技術資料に則った処理がなされ、一般社団法人日本ホウ酸処理協会認定のホウ酸施工士による確認・補修がなされることを言います。

★お客様へ

本資料に記載している情報及びデータは、当社の実験により細心の注意を払っていますが、ご使用に際しては貴社使用条件に適合するか必ずご確認願います。また、記載の荷姿、仕様に関しては断りなく変更する場合がございます。